

効果的な家庭医療研修のための 目標設定のコツ

平成21年2月22日 9:15~12:15
日本家庭医療学会FDワークショップ
一瀬直日

自己紹介(いっせなおひ)

- 家庭医療研修(H11~H15)
 - 北海道家庭医療学センターにて
- 指導医養成研修(H15)
 - 岡田唯男先生のもとで1ヶ月集中型
 - オレゴン健康科学大学家庭医療科で1ヶ月
- 赤穂市民病院では(H16~)
 - 初期研修医の指導(内科、地域医療)
 - 西播磨の中核病院。家庭医療プログラムなし。

昨秋のWS あるグループ

開原正展先生	尾道市民病院	腎臓、高血圧
福島 啓先生	西淀病院	呼吸器
石原先生	勤医協札幌病院	血液内科
岸 建志先生	大分大学	呼吸器内科
根路銘 安仁先生	鹿児島大学	小児科
石橋先生	京都民医連	呼吸器内科

1.プログラムの運営や研修医教育に取り組む中で、現在抱えている問題点、あるいは今後予想される問題への不安。~解決法

- プログラムの作成について
 - ・ **地域ニーズにあったプログラムをどうつくるか知りたい**
 - ・ 相談する窓口が学会にあるとよい。
 - ・ **ひながたがあるとよい。**
 - ・ **実際に動いているプログラムの内容を学会が検証する。**
 - ・ **ミニマムな技量をプログラムを立ち上げに当たって明示して欲しい。**

本日の流れ

- 目標設定についての一般論(講義)
 - 教育プログラム開発の6段階アプローチ
- 目標設定の実践(個人・グループワーク)
- まとめ
 - 本日の作業成果(プロダクト)は、一旦回収し、FD委員会よりコメントをつけて返却いたします。(PDF形式の予定)
 - 全員の成果をまとめた資料を後日お送りします。

“効果的”な家庭医療研修とは？

- 「3年間で皮膚科も整形外科も眼科も、全部 common diseaseを診れるようにしたい」
- 「僻地の診療所を1人で任せられるようにしたい」
- 「家庭医療研修の指導医になれるようにしたい」
- 「診療所の医業収益をアップできるようにしたい」
- 「地域住民の医療費を減らせるようにしたい」

“効果的な”家庭医療研修

- 何を目標とするか、**ビジョン**を明確化
 - あなたが現在育てている研修医を1人想定
 - お互いにどのような理想像を共有していますか？
- あれも、これも、目標にしたい方へ
 - 最も優先したいものをまず選んでください

提出用シートの所定欄に記入してください

グループ内で自己紹介

15分

- グループ内で自己紹介
- 自分の想定した研修医の大まかな様子と、あなたの挙げたビジョンを紹介してください



教育カリキュラム開発

- 共通のビジョンを携えた、あなたと研修医。
4月からのカリキュラムを練ることになりました。



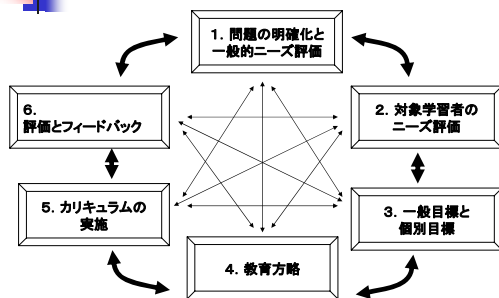
4月は皮膚科疾患を診ることができるようになりたいです。

医学教育プログラム開発に 有用な参考書籍



¥4000円

教育プログラム開発の 6段階アプローチ



第1段階 問題の明確化と一般的ニーズ評価

- **ビジョン 例**
 - 3年間で各科のcommon diseaseを診られる医師を養成する

第2段階 対象学習者のニーズ評価

- 4月の1ヶ月間で皮膚科のcommon diseaseを診られるようになりたい

Bクリニックの家庭医外来に行ってみる？

A総合病院の皮膚科外来で1ヶ月過ごしてみる？

皮膚ばかりをひたすら診たいけど。

皮膚の診断をつけるのにまだ自信がないし。

Common diseaseを中心に教えてくださるかしら？



第3段階 一般目標と個別目標

- 一般目標
 - 地方都市病院皮膚科で、(都市で働く)家庭医に必要な皮膚科のcommon diseaseを学ぶ
- 個別目標
 - 皮膚科研修修了までに、皮膚科外来患者の皮疹をみて、診断名を正しく述べられるようになる

第4段階 教育方略

- 皮膚科外来を受診する患者について、指導医が診察する前に皮疹をみて診断名をつける
- 指導医が、診断名が正しいか確認する

第5段階 カリキュラムの実施

- A総合病院皮膚科外来
- 指導医は第1診察室で診療
- 研修医は第2診察室を利用して、患者の待ち時間を利用して、同意の得られた患者について問診と診察を実施
- 上記患者と共に、指導医の診察を見学
- 診察終了後、診断名が正しかったか確認し、指導医よりフィードバックを受ける

第6段階 評価とフィードバック

- 学習者個人の診断のための評価
 - 正解率の推移を分析
 - 誤答の傾向を分析
- 指導医の教授方法の改善のための評価
 - 診断推論過程に一貫性があったか分析
- 学習プログラムの評価
 - 家庭医に必要なCommon diseaseを網羅したか分析
 - 研修終了後も皮膚疾患の診断をつけられているか追跡調査

対象学習者のニーズ再評価

- 研修開始2週間後・・・

診断名はつけられるようになってきたから、今度は治療方法も覚えてみたいわ。



教育方略を改訂
診断名と治療法を述べることに。

教育プログラム開発

- ここまでが、オーソドックスに6段階アプローチを適用したプログラム作成
- 理論的証拠に基づいたプログラム作成は大変重要
- 目標設定と評価を近づけて、もう少し簡便化した方法を紹介します

小休憩 10分



教育評価の仕組み

- 教育の評価の目的
 - ① 学習者の診断
 - ② 教授方法の改善
 - ③ 学習プログラム自体の評価
- 教育を評価するための3要素
 - A. 認知 (cognition)
 - B. 観察 (observation)
 - C. 解釈 (interpretation)

(Pellegrinoら 2001)

教育評価の3要素

- 認知
 - 何を評価したいと考えているのか、明確に定義することを意味する
- 例
 - 学習者の満足度を評価する
 - 学習者の理解度を評価する

教育評価の3要素

- 観察
 - 評価対象を適切に評価するために、何をどのように測定すればよいのか明確にする
- 例
 - 満足度のアンケート調査を行う
 - 研修終了時に習熟度テストを行う

教育評価の3要素

- 解釈
 - 収集したデータをどのように加工して目的にあわせた評価を行うかという分析手法
- 例
 - テストをどのように得点化するか、得点をどのように解釈するか評価基準を決める
 - ポートフォリオをどのように評価するか

プログラム評価方法の4段階

- 研修中
 - 第1段階: 学習者の満足度 アンケート調査
 - 第2段階: コンピテンシーの習熟度 終了時の試験
- 研修終了後
 - 第3段階: 行動変容の持続率 他者から評価
自己評価
 - 第4段階: 組織や社会の変化 疫学的分析

(Kirkpatrickによる4段階)

何を評価したいか(認知)

- 具体的に記載するとき便利な方法
 - 教育目標分類(タキソノミー)に分けて、それに相当する動詞を使用して記載する

教育目標分類(タキソノミー)

認知領域	知識	列挙する、暗唱する、提示する、区分・区別する、定義する、述べる、例を挙げる
	問題解決	区別する、分類する、判断する
情意領域	態度	価値があると評点をつける、重要であるとランクをつける、信念や意見として示す、評点をつける、ランク付けする
精神運動領域	スキル	実施してみせる
	パフォーマンス	パフォーマンスに表れる形で利用・一般化する

(大西弘高, 2005)

どのような内容を選びたいか

- カリキュラムを簡単に選び出す方法
 - 教育学の場面で使われている方法
 - キュービック・カリキュラム
 - ハイブリッド・カリキュラム

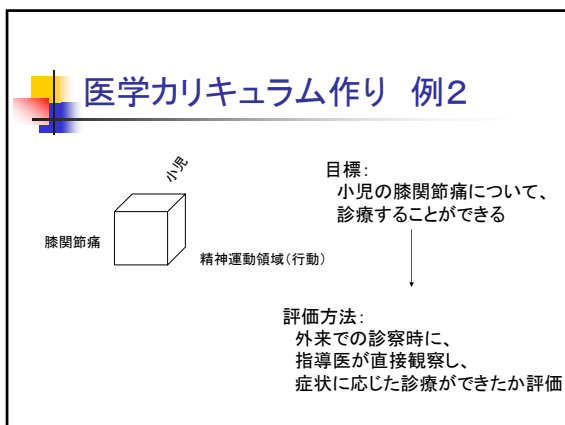
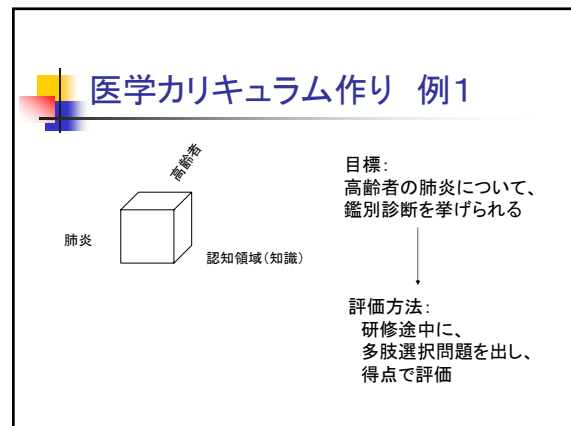
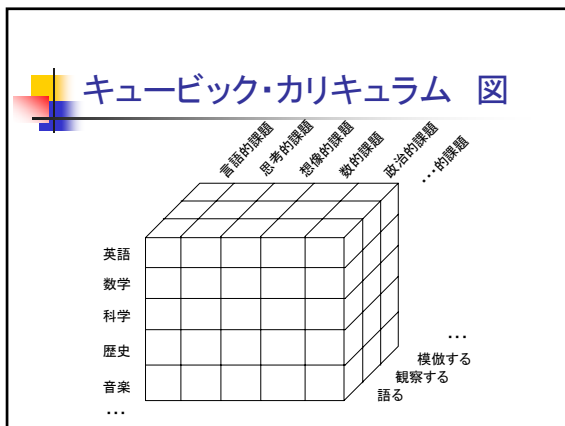
教育課程の類型化の歴史

- 古典的類型
 - 教科カリキュラム(知識中心) vs 経験カリキュラム(学習者の経験中心)

どちらが絶対ではなく、教育課程と教育目的・教育目標にしたがって、最適な組み合わせと比率を考えるべき
(安彦忠彦 1998)

キュービック・カリキュラム

- E. C. ラッグ(イギリスのカリキュラム研究者)
 - 全教科を横断するトピック学習のカリキュラムづくりの方法
 - ① 第1次元: 各教科
 - ② 第2次元: 横断的課題
 - ③ 第3次元: 教授・学習スタイル



- ### 教育課程のハイブリッド・モデル
- きめ細かな単位のカリキュラムの組み合わせで構成していく
- なぜなら
- 教育も人間も一つのカリキュラムで育てられるほど単純なものではなく、多面的で複雑なもの

- ### カリキュラム構成が大変! ?
- きめ細かなカリキュラムをすべて書き出したら、無数無限になるのでは?
- ↓
- コツ: 目標作成のときは、その期間中に是が非でも達成したい、どんなことがあっても他に譲れない、学習者のニーズを**1-2個**に絞る。その実施を最優先すると満足度は高い。

- ### 個人作業 その1
- 8分
- もう一度、“ビジョン”を確認してください
 - あなたと研修医が共通に描いた目標のうち、現在、最も優先させたいと思っているもの1つを挙げてください
 - 全研修期間中の目標に限らず、今月の目標としてもよいです
 - 「いつまでに」「誰が」「どのくらい」「何を」「どうする」
 - 提出シートの「目標」に記入してください
- ファシリテーターは記入できているか確認をお願いします

2分


個人作業 その2

- 記入した「目標」は、教育目標の、どの領域に当てはまるものですか？
提出用シートに記入してください
 - 講義ノートの資料を参照

20分

グループ内で発表 その1

- 記入した目標と、その分類を発表してください。
- その目標を選んだ背景を、1分程度で簡単に説明してください。



教育目標分類(タキソノミー)別の教育方法と評価方法

		好ましい教育方法	評価方法
認知領域	知識	読み物、講義	多肢選択式問題
	問題解決	問題解決演習、学習プロジェクト	口頭試問
情意領域	態度	ディスカッション、ロールモデル	質問紙法(アンケートで認識や信念を問う)
精神運動領域	スキル	実演見学、人工模型、ロールプレイ、録音録画による復習	直接観察法、OSCE
	パフォーマンス	指導者によるフィードバック、実地経験	診療録監査、他者からの評価

(大西弘高, 2005)

10分

個人作業 その3

- 目標に対応した、評価方法を決めます
- 評価の目的は何にしますか？
 - 学習者の診断
 - 指導医による教授方法の改善
 - プログラムの評価
- 観察の方法を記入してください
 - いつ、なにを、どのように
 - プログラムの評価なら、Kirkpatrickの何段階？

ファンリテーターは記入できているか確認をお願いします

20分

グループ内で発表 その2

- 評価の目的を何にしたか
- 観察の方法
を発表し、グループ内で共有してください

5分

個人作業 その4

- 収集されたデータをどのように解釈・分析するか、記載してください
- 結構、難しいです。
- FD委員会より、コメントをつけて返却しますので、思いつく範囲で記載してください。

20分

グループ内で発表 その3

- 解釈・分析について発表し、グループ内で共有してください



提出シートへの記入

- 参加者の氏名とe-mailアドレスを必ず記入してください

まとめ(コツ)

- 家庭医療後期研修施設のビジョンを明確化する
- 学習者のニーズ評価
 - 最優先項目は1-2点にしぼる
- 6段階アプローチを基本とし、評価を伴う目標を記載する

参考文献

- 安彦忠彦「学校知の転換を図るカリキュラム開発の在り方」安彦忠彦編『学校知の転換—カリキュラム開発をどう進めるか—』ぎょうせい, 1998
- 大西弘高 新医学教育学入門 教育者中心から学習者中心へ 医学書院 東京, 2005
- 大島純 教授・学習過程論 学習科学の展開 放送大学教育振興会 東京, 2006
- Kern他, 大西弘高 訳, 医学教育プログラム開発 6段階アプローチによる学習と評価の一体化 篠原出版新社 東京, 2003